

氏名 (生年月日)	かめ だ ま り 亀 田 茉 莉 (昭和 56 年 12 月 31 日)
本 籍	石 川 県
学 位 の 種 類	博 士 (医 学)
学 位 記 番 号	甲 第 4 7 2 号
学位授与の日付	平成 2 8 年 3 月 2 5 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学 位 論 文 題 目	A critical role of Dectin-1 in hypersensitivity pneumonitis (過敏性肺炎における Dectin-1 の機能解析)
論 文 審 査 委 員	主 査 松 井 真 副 査 正 木 康 史 湊 宏

論文審査結果の要旨

過敏性肺炎 (HP) は免疫学的機序に基づく肉芽腫形成を伴う疾患であるが、ヒトでの発症機序は必ずしも十分には解明されていない。本研究では、HP を誘発することが知られている真菌類と、最初の抗原処理と免疫効果細胞への刺激伝達を行なう樹状細胞 (DC) の相互作用に注目し、真菌の菌体成分に含まれる β -グルカンを認識する Dectin-1 という DC 膜表面上の分子と、 α -マンナンを認識する Dectin-2 という分子に焦点を当て、日本における夏型 HP の原因と考えられている *Trichosporon asahii* との関連をマウス動物モデルで追究している。その結果、同真菌は、Dectin-1 を介して免疫系を駆動していること、また、DC 由来の IL-23 により誘導された Th17 細胞が病態形成に関与していることが明らかとなった。この研究成果は、難治性病態を呈した場合の HP 患者に行なうべき治療の選択肢の判断基準の一助となるとともに、民族差がある可能性のある HP について、感染性あるいは他の環境因子と、DC 膜上の受容体の遺伝子多型の相互作用についての今後の研究の発展につながる結果を提示している。

以上により、本論文は博士(医学)の学位を授与するに値するものと認められる。

(主論文公表誌)

Inflammation Research Vol.65 No.3 2016